

整理番号 00330

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等） **Magnesium Oxide**
マグネシウム オキシライド

販売者情報

会社 LECO ジャパン合同会社
住所 〒105-0014
東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号
住友不動産芝ビル 4 号館

担当 SDS 担当者
電話番号 (03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社 LECO Corporation
住所 3000 Lakeview Avenue
St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分 3（気道刺激性）

ラベル要素

絵表示



注意喚起語
危険有害性情報

警告
強い眼刺激、呼吸器への刺激の恐れ

注意書き

【応急措置】

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う事。コンタクト
レンズをしていて容易に外せる場合は外すこと。その後も
洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断手当を受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。気分が悪いときは医師に連絡すること。

【安全対策】

取扱い後は手を良く洗う事。保護手袋/保護衣/保護メガネ/保護面を着用すること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	: 化学物質
化学名	: 酸化マグネシウム
成分及び含有量	: 100%
CAS No.	: 1309-48-4
官報公示整理番号（化審法・安衛法）	: 1-465
安衛法通知対象物質	: 非通知対象物質
PRTR 法	: 対象外
国連分類及び国連番号	: 非該当
毒物劇物取締法	: 非該当

4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸引した場合、直ちに空気の新鮮な場所に移し、症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。呼吸が停止した場合は、人口呼吸を行う。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗うこと。症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。
眼に入った場合	水ですすぐ。症状が持続又は悪化した時は医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。意識の無い場合やけいれんを起こしている場合は、口から物を与えない事。気分が悪い時は医師に連絡すること。
急性症状及び遅発性症状	入手不可
応急措置及び特別注意事項	症状に応じた一般的な対症療法を行う。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、炭酸ガス、粉末消火剤
使ってはならない消火剤	入手不可
化学物質から発生する特定危険物	酸化マグネシウム
消火を行う者の保護	火災時には自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
消火器具及び方法	通常の消火方法を取りその他の関連する危険物を考慮する。
特有の消火方法	入手不可
火災の危険性	入手不可

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	関係者以外を退避させる。漏出物質からのダストの吸い込みを避ける
回収方法及び道具	箒又は掃除機で吸引し廃棄に適した容器に集める。 粉じんの発生、堆積を出来るだけ避ける。
環境に対する注意事項	環境への排出を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	ダストの発生、蓄積を最小限に抑える。ダストが発生する場所には適切な換気設備を設ける。眼への接触を防ぐ。 ダストの吸引を避ける。長期間のばく露を避ける。 整理整頓を心掛ける。
安全な保管条件及び混触危険物質	製品の入っている容器のまま密閉し、乾燥した、換気の良い場所で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（ばく露限界値）

US. OSHA（労働安全衛生法）表 Z-1 空気汚染許容濃度（29 CFR 1910-1000）

成分	タイプ	値	形状
酸化マグネシウム CAS：1309-48-4	PEL	15 mg / m ³	全微粒子

US. ACGIH（産業衛生専門家会議）ばく露限界値

成分	タイプ	値	形状
酸化マグネシウム CAS：1309-48-4	TWA	10 mg / m ³	吸入区分

生物学的限界値
設備対策

生物学的ばく露限界値は設定されていない。
十分な換気を行う。

保護具

眼/顔の保護	サイドシールド付きメガネ（又はゴーグル）を着用する。
皮膚の保護	
手	適した保護手袋を着用する。
その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダスト/フュームがばく露限界以上の場合は、NIOSH/MSHA 認可の保護マスクを着用する。
熱からの保護	必要に応じて熱保護衣を着用する。
一般的な衛生対策	飲食や喫煙の前に手を洗うなど、常に衛生環境に気を配る。 作業着、保護具類は定期的に洗濯・清掃する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

形状	固体 ビーズ状
色	白色
臭い	入手不可
融点・凝固点	2852 °C (推定)
沸点又は初留点及び沸騰範囲	3600 °C (@760mmHg)
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	入手不可
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	不溶
n オクタノール/水分配係数	入手不可
蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	3.58 g/cm ³
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可

10. 安定性及び反応性

反応性	入手不可
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	入手不可

避けるべき条件	ダストを空中に散布しない。(圧縮空気でダストを吹き飛ばすなど。) 混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤、強酸、リン。五塩化リンと激しく反応する恐れ。
有害な分解生成物	入手不可

11. 有害性情報

起こりうるばく露に関する情報	
飲み込んだ場合	入手不可
吸入	ダストを吸入した場合、呼吸器への刺激を恐れ。
皮膚	入手不可
眼	ダストが目には炎症を起こす恐れ。
物理的・化学的・有害性特性に関連した症状	入手不可
毒物学的影響に基づいた情報	
急性毒性	入手不可
皮膚腐食性/刺激性	入手不可
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	入手不可
呼吸器又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	入手不可
生殖細胞変異原性	入手不可
発がん性	
IARC 研究論文、Overall Evaluation of Carcinogenicity	入手不可
OSHA 特定規制物質(29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
US.国家毒性プログラム (NTP) 発がん性報告書	入手不可
生殖毒性	入手不可
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	入手不可
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	入手不可
誤えん有害性	入手不可
その他情報	大量に吸引又は飲み込んだ場合、発熱や白血球増加の恐れ。

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品の環境的に有害な物質としてのデータなし。
残留性/分解性	この製品の分解性に関するデータなし
生体内蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	入手不可
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響 (例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成、内分泌かく乱、地球温暖化など) は

考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
危険廃棄物コード	使用者、生産者及び廃棄物業者間で協議し、廃棄物コードを割り当てること。
残余廃棄物/未使用製品	各地方自治体の規則に従い廃棄すること。
汚染容器	未使用品として廃棄する。

14. 輸送上の注意

DOT（米国運輸省）	危険品としての規制なし
IATA（国際航空運輸協会）	危険品としての規制なし
IMDG（国際海上危険物規定）	危険品としての規制なし

15. 適用法令

なし

16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS (091815)	: LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法	
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法・ラベル、作業場内の表示および安全データシート	
	化学便覧	: 丸善
	職場の安全サイト	: 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム	: 独) 製品評価技術基盤機構

作成	平成 13 年 9 月 1 日	
改訂	平成 22 年 4 月 27 日	法令見直し
	平成 23 年 7 月 11 日	法令見直し
	平成 29 年 2 月 3 日	書式、法令見直し
	令和 4 年 3 月 16 日	法令見直し、2019 年版 JIS 対応

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。